表1　後天的な学習による戸手高生の母性の発達

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 実施前『事前課題：ワークシートを使って赤ちゃんのベッド作り』 | 実施後『実施課題：親プロ1番ワークシートを使ってグループワーク』 |
|  | 1　自分の赤ちゃん（卵）を寝かせるベッドは，何を使ってどのように作りましたか。 | 2　自分の赤ちゃん（卵）を寝かせるベッドを作るとき，どのようなことを思いながら作りましたか。 | 3　卵に顔を書き命名したあと，どうしてその名前にしたかを書きましょう。 | 1　卵をかご（幼稚園）に入れましょう。手離すとき，どんな気持ちでしたか。 | 2　他の人の卵を回しているとき，どう感じましたか。自分の卵を他の人が回しているとき，どう感じましたか。自分の卵が戻ってきたとき，どう感じましたか。 | 3　自分の親（保護者）に対して，どう思いましたか。 | 4　自分の中で，分かったこと，考えが変わったことがあれば，書いてみましょう。 |
| Ａ | 家にあった箱を切ってベッドの外を作る。家にあった布を切って敷布団・掛布団・枕の綿を詰める。外側の箱はそのままだとシンプルすぎるので布を切ってボンドで貼る。 | 寝やすいベッドを作る。寝心地の良いベッド。赤ちゃんに喜んでもらえるようなベッド。自分のできる範囲でかわいくしてあげたい。 | 零（ぜろ）零（ぜろ）と聞くと０という数字を思い出して何もないような感じになるかもしれないが，私は何もないからこそスタート地点に立っていてどこにでも行けると考えている。ぜろという響きが好き。 | 寂しい。どっか行ったな。成長したな。忙しかったなぁ今まで。これからも大変だな。 | 他の人のだから大切に扱わないといけない。ちゃんと扱えよ。何かあったらやだな。やっと戻ってきた。自分の卵が一番かわいい。 | 母さんも大変な思いをして育ててくれたんだなと思うと感謝感謝です。自分も将来子どもを産んだりしたら大変な思いをするだろうけれどそれを経験していくことが，母親になるということなんだと思いました。母親は偉大だと思った。 | 産んだから母親になれるんじゃなくて，子どもを産み育てていくことで母親になれるんだと思いました。母親は大変だけどそれ以上に喜びや楽しさを感じられるんだと思いました。 |
| Ｂ | 100円ショップで買ったかごを使ってその下に綿を入れてふわふわになるようにしました。毛布も欲しかったのでガーゼを使いました。ただガーゼだとちょっとさみしかったので紐を使ってリボンになるように波縫いしました。 | ただただふわふわになるように温かくなるようにという気持ちで作りました。綿を下に入れる時は自分が寝たいなと思いました。また，卵自体も寒そうだったのでおむつを履かせたいと思い紐を使ってぐるぐる巻きにしました。それに自分の子どもは女の子が良いと思っているので卵も女の子ということにしてリボンをつけてあげました。何をしている時も「どうすればもっと良くなるかな」という疑問をもって取り組んでいました。 | まる（まる）全体的に丸いのが一番の決め手になりました。そしてもし女の子を自分が産んだらひらがな２文字をつけたいなと思っているからです。ただ見た目が丸いだけが理由ではなく心も丸く，尖らないように成長してほしいからです。それに響きも可愛いので自分の中でこれだと思いました。 | また新しい一歩を踏み出す喜びとやっていけるだろうかという不安で複雑な気持ちになりました。 | 他の人の卵を見て可愛いなと思いました。絶対に落とさないようにしないといけないという責任感もうまれました。また自分の卵も絶対に落とさないでねという気持ちでした。 | すごいなと思いました。自分を育てるのにたくさんの苦労を重ねてここまで健康に生きれたのは親のおかげだと改めて感じました。ありがとうという感謝の気持ちとこれから恩返しをたくさんできればいいなと感じました。 | 卵を赤ちゃんだと思ってベッドを作るという体験は私に良い刺激を与えてくれました。まだ親がいないと生きていけない。自分のことで精一杯な私が子どもなんて育てられないと思っていましたが親の気持ちになると子どもの大切さ尊さを感じました。 |
| Ｃ | ふわふわな布の切れ端と綿とスパンコールとリボンを使ってとにかくふわふわでかわいく作りました。 | どれだけ赤ちゃんが楽に寝れるかなとか，どんなベッドだったら嬉しいかなと考えながら作りました。 | 十希（とき）十とはついているけど，10個とかじゃなくてたくさんという意味でたくさんの希望に満ち溢れた子になってほしいと思いこの名前にしました。 | がんばってほしい。 | 受け渡しをするとき割れないか不安だった。手におさまった時かわいいと思った。 | 自分のお母さんも今の私に生まれた私のことを大事にかわいがってくれたんだろうなと思った。感謝の気持ちが生まれた。 | 今まで赤ちゃんとかのベッドとかって何も考えず，とりあえず売っていて良さそうなものを買ってるのかなと思っていたけど，お母さん達は赤ちゃんのことを考えながらいかに寝やすくできるかとかを考えながらベッド選びや作りをしているのかなと思った。 |
| Ｄ | かご２つ・ビーズ・毛糸・レース。編む・縫う・切る・縛る・貼る。 | 自分が入っていたようなかごにした。母性なのかボンドでくっつけようと思っていたのにいざとなったら縫ったり編んだりしてしまった。 | 花（はな）どんな天気でも力強く地に支えられ食に困らない花自体が可愛がられる。花には色々な意味があり様々な場面で使われ人々を笑顔にさせるから。 | もう手離したくないし家で育てたいし，よく分からん馬の骨の男となんかに会わせるのは嫌だから家政婦さんに育ててもらいたい。純粋なままの花ちゃんで。 | 落とさないかなと思った。わが子なので花ちゃんを大切にしてと感じた。しょうがなく養子に出す人は自分の子なのにと思うのかな。（イヤ，悲しい） | 母に重たいし泣いて早くベッドに戻したいと思っていたけど，頭をきれいな形にするために大変だったと聞き愛情を感じた。大変でかわいいだけじゃないこともしばしばだったろうけど，ここまで喧嘩しつつしっかり育ててもらってありがとうと思った。もう一度名前の由来を聞きたいと思った。ありがとう○子・〇夫。 | 母性が生まれた。卵でさえかわいかった。障害があろうとなかろうと自分の子に対する愛情やいとおしさはかわらないと思った。 |
| Ｅ | 綿を詰めて縫いました。女の子なので枕にうさぎをつけました。ベッドは私が幼少期に使っていたお弁当箱を使いました。 | 赤ちゃんは女の子の設定なので枕にウサギをつけて名前を考えたりしました。どのように作ろうか考えながら作ることができたのですごく楽しかったです。愛情を込めました。 | 日向（ひなた）太陽のように明るく元気に育ってほしいのでこの名前にしました。 | 寂しい気持ちです。早く仕事を終わらせて会いたいです。 | かわいかったけどやっぱり自分の子どもが可愛かったので多分本当に親になったとき溺愛しそう。可愛いって思ってくれているか心配だった。やっぱり私の子どもが可愛いなぁ。 | 子育てというのは可愛いだけではだめだなと思った。ご飯も洗濯物も掃除も全部がしてもらって当たり前と思ったら駄目だと思った。本当に母親は強いと思った。母親は偉大だなあ。尊敬している。普段は恥ずかしくて言っていないけどいつも感謝しています。ありがとう。大好きです。これからもたくさん迷惑かけるけどよろしくお願いします。 | 今回ベッドを作るだけだったけどそれでもすごく大変でした。本当の子育てはもっと大変だと思うから子ども一人を育てるのも簡単ではなく覚悟がいるということが分かりました。 |
| Ｆ | 赤ちゃんがパイプの部分に当たると冷たいのでもこもこの毛糸を巻き付けました。敷布団は綿で枕と掛布団はもこもこの布を縫って作りました。 | 赤ちゃんが寒くないように考えながら作った。なのでもこもこの布を作ったりして工夫した。ベッド作りをはじめて２週間，材料を買う時も作っている時も常に赤ちゃんのことを思いながら作った。短い期間だったけどとても良い経験になりました。 | 千愛（ちあ）意味はたくさんの人に愛され，たくさんの人を愛する人間になってほしいと考えたから。あと自分と同じ漢字を入れたかったから。 | 離れても泣かないか心配で不安。 | 泣かないか不安。可愛いって言ってもらえて嬉しかった。お帰り。 | 18年間ここまで育ててもらったことに感謝。大変なこととかしんどいこともたくさんあったと思うけど大切に育ててもらったし愛されてると感じるから自分も本当の子が生まれたら子を心から愛してあげたい。 | 母親になると自分よりも子どもを第一に考えるようになった。母親は偉大。 |
| Ｇ | 木の箱・ギンガムチェックの布・カラフルモール・かぎ針で編んだもの。 | 赤ちゃんが寒くないようにと思いながら作った。 | ゆき（ゆき）自分の名前の候補だった名前。 | がんばれ。心配。泣くかどうか不安。 | 割らないように慎重に渡そうと思った。無事帰ってくるか不安。安心。 | 親に愛されているなと実感した。反抗しているときもあるので迷惑かけて申し訳ないという気持ちがある。 | 親の気持ちが分かった気がした。家に帰ってくるまで無事帰ってくるかなど心配してくれているんだなと思った。感謝の気持ちが増えた。 |
| Ｈ | 家にあった小物入れ・ふわふわのシュシュそして周りに花を添えました。 | もっと凝ったベッドを作りたかったのですが私事情（入試）で作れなかったのがとても残念です。卵にはふわふわなベッドで寝てほしいという考えはあったのでシュシュがあって良かったです。 | 天使（てんし）自分の子どもの名前を天使ちゃんにしたい訳ではなく自分の子どもに何て名前をつけたいかと考えたときに思いつかなくて，なので自分の子どもは天使みたいに可愛いと思うので，この名前にし卵にも羽をつけました。 | がんばれ。心配。もう一回おなかに入れたい。 | 割らないように少し緊張した。割られないか心配になった。お帰りーって感じで安心した。 | 私のお母さんも私や弟を育てる時にこんな思いで育ててくれたのかなと嬉しく思いました。愛をたくさん込めて育ててくれて改めて大好きだなと思いました。 | 卵でもかわいい，不安などいろんな感情になったので自分が実際赤ちゃんを産んだらもっといろんな感情が出ると思うので今からドキドキし始めました。 |
| Ｉ | 毛糸・刺繍糸・糸・フェルト・綿。 | 巣みたいに丸くて大きすぎない大きさで毛糸を使うことで温かみのあるベッドを作りました。できるだけ全部手作りで硬くない物を使おうと思って材料を選びました。 | ひより（ひより）漢字で書くと日和です。ひらがなの方が書きやすいし読み間違えられたりしないと思ってつけました。日和は「～日和」など何かをするのに丁度いい天気という意味があるので前向きでポジティブな感じがしていいなと思いました。 | 少し寂しかった。他の子と仲良くできるのか不安に思った。 | とにかく落とさないように気を付けて扱った。卵に書いた顔が変じゃないか不安だった。 | 小1の時から祖母に育ててもらって小さい時からいろいろと迷惑かけたことあったし話さない時期もあったけど最後に思うのは感謝しかない。 | 最後は自分が親になる疑似体験みたいなことをするのかと思っていたけど，自分の親がどんな気持ちで子育てしていたのかを想像することが少しできた気がします。 |
| Ｊ | 赤ちゃんの下にコットンを敷いて冬でも温かくなるようにしました。 | 私が２月のとても寒い時期に生まれたのでお母さんも私が寒くないようにと色々と工夫していたと言っていたので赤ちゃんが少しでも温かく過ごせるようにと心掛けました。 | あい（あい）幸せでいてほしいから。 | すくすく育ってほしい。 | 他の赤ちゃんも可愛いなと思いました。 | 私は２月の寒い時期に生まれたので少しでも冷えないように工夫したとお母さんが言っていました。今日のベッドは寒い時期に生まれたと想定して作りました。私も少しでも温かくなるようにとても工夫しました。 | 親も私が生まれて育つまでたくさん工夫してくれたんだろうなと思いました。 |
| Ｋ | 毛糸を使って揺りかごを編んだ。布団には綿を詰めてみた。 | シンプルなデザインのほうが安全で安心感があると思い，ベッドと枕を作った。将来私に子どもができてもシンプルなものを買ってあげたいと考えている。 | 渚（なぎさ：女の子）・陸（りく：男の子）海に関係した名前にしようと思い，ひびきが好きだからなぎさとりくにした。実際に名前をつける時は生まれた季節に関係した名前をつけたい。 | 割れないように傷つかないように注意して入れた。手離すときにまだ冷たかったからもう少し温めたくなった。 | 他の子も可愛かったけどやはり自分の子への愛着が強かった。しっかり慎重に包んでくれて安心した。手元に帰ってきたとき安心した。 | 辛いと感じることもあったと思うけどそれ以上に愛情を持って育ててくれたことに感謝してもしきれない。自分を産んでくれてありがとうと伝えたい。 | この学習を通して人それぞれの価値観や親になることへの責任感を疑似体験ながらも感じた。また自分の親への尊敬や感謝の気持ちがより一層強くなった。 |
| Ｌ | 綿を使い寝心地よくした。両サイドに花をつけて可愛らしさも出した。 | 本当に自分の赤ちゃんができた時とても可愛いんだろうなと思いました。寝ていて少しでも気持ちいいなと思ってくれるように作った。 | 澪（みお）人を導ける人に成長してほしい。迷わずにまっすぐ進んでほしい。 | ぬくもりがなくなっていく感じがして寂しいと思った。友達をたくさん作ってほしいと思った。 | 傷つけないようにしたら落としてしまった。いろいろな卵（赤ちゃん）と出会い自分の卵が戻ってきたときはほっとした。 | 1人の赤ちゃんを育てるだけでも大変なことなのに双子だからとても苦労したと思うと尊敬する。ここまで成長できたのは全部親のおかげだから感謝する。 | 将来自分に赤ちゃんができた時とても可愛いんだろうなと改めて思った。今は自分の欲しいものやしたいことを優先しているけど親になったら子どもの成長が一番優先されるのだろうなと思った。 |